

大阪府循環器疾患予防研究委託業務

「府民の健康づくりを支援する
シンクタンク機能の役割」

報告書
(令和6年度)

大阪健康安全基盤研究所

令和7年3月

はじめに

大阪府循環器疾患予防研究受託業務は、令和 5 年度より大阪がん循環器病予防センターから地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所(以下、「当法人」という。)公衆衛生部疫学解析研究課に移管された。当法人は、平成 29 年 4 月に大阪府と大阪市の地方衛生研究所が統合し発足された。そして、公衆衛生部疫学解析研究課は、疫学調査研究機能の強化として、感染症分野以外にも生活習慣病の分野も取り入れ研究の裾野を広げるために令和 5 年 4 月に発足された。本年度、大阪府では令和 6 年度から 12 か年予定の第 4 次大阪府健康増進計画が策定され、令和 7 年度には「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマにした大阪・関西万博が開催される予定である。また、少子高齢化、人口減少など社会情勢の変化などは急速に進んではいくが、その中でも府民の健康状況と課題を把握して、解決を図るための取り組みを府民の健康づくりを促進するためにこれからも努めることが重要である。今後も関係者各位の多大なるご支援をお願いしたい。

当法人の役割の一つとしてのシンクタンク機能を果たすべく、収集した情報や移管前から現在までに得られた知見を加えての情報発信に努めている。この事業内容は、大きく三つに分かれている。第一は、人材育成、情報発信及び循環器疾患対策に関する施策の提言である。つまり、大阪府及び市町村などが主催する審議会や協議会などの場において、人材育成、情報発信及び循環器疾患対策などへの具体的な取り組みの方向性を示していくことである。第二は、循環器疾患の予防に関する情報等、健康情報の発信である。循環器疾患を予防する知識や情報等を、ホームページを通じて発信するほか、民間企業等と連携し、健康知識等の普及のための資材作成への協力など、健康情報の発信を強化することである。第三は、府民の健康指標のデータ更新、概要版の提示である。国及び関係機関が公表している健康関連指標の収集や、健康づくりに関する実情把握調査の実施により得られた結果を分析して資料にまとめ、ホームページを通じて公表していくことである。このことにより、大阪府並びに市町村の施策立案に役立てられるようにする。

本報告書は、当法人が令和 6 年度においてシンクタンク機能として果たしてきた役割および今後の方向性についての報告である。

目 次

I. 人材育成、情報発信及び循環器疾患対策に関する施策の提言	1
1. 大阪府の健康づくり施策の推進の支援	1
2. 市町村等の支援	2
II. 循環器疾患の予防に関する情報発信及び提言	4
1. 講演活動	4
2. 催物等への参加	4
3. ホームページ	5
4. 研究班活動	6
5. 学会発表	7
III. 府民の健康指標に関する情報発信	8
1. NDB データを用いた大阪府内各市町村別及び保健所別分析	8
2. 健康寿命の算出	8
3. 健康指標の更新	8
IV. 別添資料	9

I. 人材育成、情報発信及び循環器疾患対策に関する施策の提言

1. 大阪府の健康づくり施策の推進の支援（表1）

大阪府では平成30年10月「大阪府健康づくり推進条例」を制定し、そのため健康寿命の延伸・健康格差の縮小を目標に、府民の健康づくりの一層の気運醸成を図るため、『健活10』というキャッチコピーとロゴマークを新たに作成し、また、2025年開催の大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、健康関連分野への影響は大きい。

これらの施策を円滑に進めるため、府健康づくり課との会議を定期的の実施している。また、各種計画の円滑な推進のための会議も随時行い、その啓発、普及に努めており、府国民健康保険課や大阪府国民健康保険団体連合会との協力によっても助言等も実施している。

表1 大阪府との会議等の実績

名称	主催者	実施日、回数等	参加者
大阪府食育推進ネットワーク会議総会	大阪府食育推進ネットワーク会議事務局 (大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課 総務・歯科・栄養グループ)	2回 2024/7/30, 2025/2/28	清水悠路
大阪府食育推進計画評価審議会	大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課 総務・歯科・栄養グループ	2025/3/18	清水悠路
地域・職域連携推進連絡会	大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課 企画・データヘルス推進グループ	2回 2024/7/2, 2025/3/3	吉田知克
大阪府ヘルスアップ支援推進会議	大阪府健康医療部健康推進室国民健康保険課	4回； 2024/5/28, 11/8, 11/26 2025/3/26	清水悠路 本田瑛子 佐々木なぎさ
大阪府国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会	大阪府国民健康保険団体連合会	4回 2024/7/1, 11/19, 12/17, 2025/3/25	清水悠路 本田瑛子
大阪府国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会 WT による検討会	大阪府国民健康保険団体連合会	全15回 (うち、2024/8/2, 8/9, 9/2, 9/3, 9/6, 2025/2/20, 2/25 に出席)	清水悠路 本田瑛子

2. 市町村等の支援（表2，3）

健康寿命の延伸と健康格差の縮小が現時点で最も重要な課題である。この課題を解決すべく、府内市町村における住民および労働者の健康増進のために様々な取り組みを行っている。

当法人では、市町村の健康増進活動を大阪府から委託された「健診・保健指導・医療レセプト等データ分析」、「行動変容プログラムの推進」、「循環器疾患と危険因子のモニタリングによる研究」の三つの事業を通して市町村等を支援している。詳細は、各報告書に譲る。

また、これら三つの事業を通じた市町村等支援の他にも、会議等への出席や保健事業実施のスキルアップにつながる情報提供等への対応を随時行っている。以下、会議等や市町村等からの相談への情報提供内容を示す。

表2 市町村の会議の実績

名称	内容	実施日、回数等	参加者
大阪府ヘルスアップ支援事業（フォローアップ市町村；豊能町、忠岡町）	地域課題・原因を地域ごとに分析し、効果的・効率的な保健事業展開を検討し、具体策の推進を支援	豊能町 1 回 (2025/1/14) 忠岡町 1 回 (2025/1/28)	清水悠路 本田瑛子 佐々木なぎさ
大阪府ヘルスアップ支援事業（新規モデル市町村；島本町、岬町）	同上	島本町 3 回 (2024/12/25, 2025/1/31, 2/19) 岬町 3 回 (2024/12/27, 2025/1/24, 2/21)	
八尾市衛生問題対策審議会	衛生諸問題に係る解決策、地域住民の健康保持増進等の地域医療及び保健所の運営について調査、審議	1 回 2024/11/14	清水悠路

表3 市町村への情報提供についての内容

対象市町村等	内容
忠岡町	第4期特定健診・特定保健指導について、HDL コレステロールの受診勧奨値の設定がなくなった経緯についての質問があり、「動脈硬化性疾患予防ガイドライン」等を提示して説明対応した。
八尾市	「健診・保健指導・医療レセプト等データ分析」事業にて実施している分析について、健診とレセプトデータの分析対象者の確認依頼があり、説明対応した。
吹田市	①脂質異常の有所見区分判定値について ②重症高血圧の年齢階級別の解析の有無について 「健診・保健指導・医療レセプト等データ分析」事業に関する上記2点について問い合わせがあり、①については「動脈硬化性疾患予防ガイドライン」に沿って説明し、②では解析の状況について説明し対応した。
枚方市	市の行う協議会で提示したデータに関しての意見に対し、回答内容の方針について問い合わせがあり、健診やレセプトデータの前提条件の確認や解釈について説明した。

Ⅱ．循環器疾患の予防に関する情報発信及び提言

1．講演活動（表4）

自治体、民間企業等の各種団体が主催する住民や労働者向けの研修会・講演会に講師等として職員を派遣し、健康に関する知識の啓発・普及に努めた。また、指導者や事業担当者向けの研修会や会議に講師等として出席し、講演や助言を行った。

表4 研究会・講演会での講演実績

名称	主催者	日程	参加者	別添資料
防犯防災総合展 2024	防犯防災総合展実行委員会・一般財団法人大阪国際経済振興センター・テレビ大阪	R6. 5. 31	吉田知克	資料1
第6回臨床血管健康研究会	特定非営利活動法人血管健康増進協会	R6. 9. 14	清水悠路	資料2
大阪府国保ヘルスアップ支援事業「特定健診未受診者対策支援事業」検討会	大阪府健康医療部健康推進室国民健康保険課	R6. 12. 18	本田瑛子	資料3

2．催物等への参加（表5）

自治体、民間企業等の各種団体との共催等にて開催する催物等へ参加し、健康に関する情報の発信、知識の啓発・普及を行った。

表5 参加実績

名称	主催者	日程	参加者	別添資料
第41回東成区医師会健康展 ポスター展示、足指筋力測定	東成区医師会	R6. 10. 24	清水悠路 本田瑛子	資料4
大阪・関西万博開催 50 日前 イベント「こども SDGs フェスタ」『楽しく学ぼう“健活10!”』 立ち上がりテスト、握力測定の実施によるフレイルチェック（詳細は「行動変容プログラムの推進」報告書参照）	セブン&アイ・クリエイトリンク （後援：2025 年日本国際万国博覧会協会、関西経済連合会、参加：松原市、大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課等）	R7. 2. 24	清水悠路 本田瑛子 佐々木なぎさ	資料5

3. ホームページ（表6，7）

当法人のホームページにて、循環器疾患をはじめとする生活習慣病等に関する情報の発信や、本委託事業の紹介、研究活動の紹介について公開している。

生活習慣病等に関する情報発信として、ホームページ内の「社会と健康」の「トピックス」にてコラムを掲載した。また、18歳以上の大阪府民であれば誰でも使える無料のスマートフォンアプリ「おおさか健活マイレージ アスマイル」の健康コラムにも、ホームページに掲載した内容の一部を投稿した。

表6 情報発信内容

コラム名称	作成者
5月31日は「世界禁煙デー」	本田瑛子
野菜、たっぷり食べていますか？	吉田知克
糖尿病の合併症～11月14日「世界糖尿病デー」～	佐々木なぎさ
アスマイル健康コラム名称	作成者
野菜、しっかり食べていますか？	佐々木なぎさ

本委託事業については、ホームページ内の「循環器疾患予防研究委託業務」にて、事業の進捗状況を公開し、過去の事業の進捗や報告書の掲載している。本年度事業として、保健事業担当者に対する事業説明会（令和6年8月28日）、研修会（令和6年12月9日）の開催に関する内容を掲載した。

表7 情報発信内容

「循環器疾患予防研究受託業務」
http://www.iph.osaka.jp/s016/050/cvd_commissioned.html
「トピックス」
http://www.iph.osaka.jp/s016/000/topix/prevent.ncds.html

4. 研究班活動（表8）

当法人の職員は、各種研究班の活動に参加、従事することにより、各フィールドの情報を収集し、特定健診の受診率の向上や健診成績の評価等について、意見や新たな手法を取り入れ、府民の健康増進の普及活動に役立つような研究活動をしている。

表8 本年度の研究班活動

研究 期間	研究者 種類	研究班の分類	研究班の課題名	氏 名
2021- 26	分 担 研 究 所 者	科学研究費助成事業 （学術研究助成基金 助成金） 基盤研究 B	大規模コホート研究の統合解析 による認知症予防エビデンスの 研究	清水悠路
2023- 28	分 担 研 究 者	科学研究費助成事業 （学術研究助成基金 助成金） 基盤研究 B	壮年期の社会心理負担と経度認 知障害に関する研究	清水悠路
2023- 26	分 担 研 究 者	国立研究開発法人日 本医療研究開発機構 （AMED） 行動変容指 標に関する研究	生活習慣病予防のための行動変 容を評価する包括的な社会心理 行動指標に関する研究	清水悠路
2023- 25	分 担 研 究 者	科学研究費助成事業 （学術研究助成基金 助成金） 挑戦的件研 究(萌芽)	血液バイオマーカーを用いた栄 養評価による認知症発症リスク 解明の疫学研究	清水悠路
2023- 25	分 担 研 究 者	厚生労働科学研究費 補助金（循環器疾 患・糖尿病等生活習 慣病対策総合研究事 業）	循環器疾患及び糖尿病、COPD 等 の生活習慣病の個人リスク及び 集団リスクの評価ツールの開発 と応用のための研究	清水悠路
2023- 25	研 究 代 表 者	科学研究費助成事業 若手	災害が心身の健康に及ぼす長期 的な影響と発症予防に寄与する 要因についての疫学研究	吉田知克
2021-	研 究 代 表 者	ファイザーヘルスリ サーチ振興財団 科学研究費助成事業	東日本大震災前後の発達障がい 及びストレス障がいの長期推移 とその要因に関する疫学研究	吉田知克
2024	研 究 代 表 者	大阪市医師会医学会 医学研究奨励費	The factors improve sleep quality among people with Asian flush in Osaka Prefecture	吉田知克

5. 学会発表（表9）

健康増進の普及活動のための研究に加えて、各種研究班の活動に参加し、従事した成果を学会で以下の通り発表した。

表9 本年度の学会発表

学会名	日程	発表内容	
日本生理人類学会第85回大会	R6. 6. 14-16 東京	GDF-15の影響を考慮した就寝前間食と動脈硬化の関係	清水悠路
第83回 日本公衆衛生学会総会	R6. 10. 29-31 北海道	喫煙とヘモグロビン及び身長低下の関係の解明	清水悠路
		身長低下予防因子としてのヘモグロビンの検討	吉田知克
第48回 大阪府医師会医学総会	R6. 11. 4 大阪府	The factors improve sleep quality among people with Asian flush in Osaka Prefecture	吉田知克
地域医療協働センターフォーラム	R7. 3. 8	身長低下リスクとしての「早食い」の検討	清水悠路
第95回 日本衛生学会総会	R7. 3. 19-21	アルコールフラッシュ及び飲酒習慣と自閉症スペクトラム症との関係の解明	清水悠路

Ⅲ．府民の健康指標に関する情報発信

1．NDB データを用いた大阪府内各市町村別及び保健所別分析（表 10）

大阪府民の状況について、解析対象保険者を市町村国保や協会けんぽに限定せず、大阪府内全体を把握することを目的に NDB を用いた分析を実施した。解析対象年度は令和 2 年度の健診データであり、解析結果は「地域健康カルテ」として大阪府ホームページにて公開されている。

他、本委託事業「健診・保健指導・医療レセプト等データ分析」の事業報告書を参照されたい。

表 10 掲載先

大阪府ホームページ 府民の健康状況見える化サイト - 地域健康カルテ
http://www.pref.osaka.lg.jp/o100070/kenkozukuri/kenkoukarute/index.html

2．健康寿命の算出

令和 4 年の全国、大阪府、大阪市の健康寿命（日常生活動作が自立している期間）をそれぞれ算出し、結果は府内各市町村、大阪府国民健康保険連合会、大阪府後期高齢者医療広域連合、各保健所へ情報提供した。

3．健康指標の更新

第 4 次大阪府健康増進計画で基本目標に掲げられた各健康指標の数値目標に関して、現在の取り組み状況の出典元となったデータをリスト化した。

IV. 別添資料

資料 1

48

🕒 5月31日(金)11:40～12:40 📍 セミナー会場E

×

福島県における災害医療のとりくみ

福島県は自然災害が多く、東日本大震災以降、福島県立医科大学では災害医療に関する多くの研究がおこなわれ、県は被災者支援にあたる人材の育成に取り組んできました。実際に震災後の福島県で研修を受け、福島県立医科大学で研究に携わった立場として、これまでの体験談を感想を交えてお伝えできればと思います。

講師

大阪健康安全基盤研究所
公衆衛生部疫学解析研究課
研究

吉田 知克氏

令和3年 公立大学法人福島県立医科大学医学部疫学講座 助教
令和5年 独立行政法人大阪健康安全基盤研究所公衆衛生部疫学解析研究課 研究員

<https://www.bohanbosai.jp/2024/seminar/>

【プログラム】

本大会 1 日目 6 月 15 日 (土)

開会 9:25

口演セッション 1

9:30-10:42

F309

座長 安河内彦輝 (関西医科大学)

O1-01 GDF-15 の影響を考慮した就寝前間食と動脈硬化の関係

清水悠路^{*1,2}, 有馬和彦^{*1}, 野口優子^{*1}, 佐々木なぎさ^{*2}, 山梨啓友^{*1}, 川尻真也^{*1}, 林田直美^{*1}, 前田隆浩^{*1}^{*1} 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科, ^{*2} 大阪健康安全基盤研究所

O1-02 高齢患者の末梢静脈留置針挿入部位における温電法の安全性と静脈拡張効果

安田佳永^{*1,2}, 宋戸穂^{*1}, 松野千代美^{*3}, 矢野理香^{*1}^{*1} 北海道大学大学院保健科学研究科, ^{*2} 北海道大学創成研究機構, ^{*3} 札幌市立大学看護学部

O1-03 特定健診におけるテロメア長を用いた健康リスク因子の探索

有馬弘晃^{*1}, 猪股晋作^{*1}, 河内宣之^{*1,2}^{*1} 長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野, ^{*2} 国立国際医療研究センター国際医療協力局

O1-04 反復低圧低酸素曝露によって起こる遺伝子発現変動と生理的变化

林瑞生^{*1}, 西村貴孝^{*2}, 本井碧^{*2}, 中山一大^{*3}, 有馬弘晃^{*4}, 太田博樹^{*5}, 小川元之^{*1,6}, 前田享史^{*2}, 勝村啓史^{*1,6}^{*1} 北里大学 大学院医療系研究科 医科学専攻, ^{*2} 九州大学 大学院芸術工学研究院 人間生活デザイン部門, ^{*3} 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻, ^{*4} 長崎大学 熱帯医学研究所 環境医学部門 国際保健学分野, ^{*5} 東京大学 理学系研究科 生物科学専攻, ^{*6} 北里大学 医学部

O1-05 用量依存的反応からみた光によるメラトニン抑制の民族差に関する研究

中澤勇介^{*1}, 今泉一輝^{*1}, 許諾^{*2}, 徳永恭平^{*1}, 大橋路弘^{*2}, 江藤太亮^{*3}, 早川敏之^{*4}, 樋口重和^{*5}^{*1} 九州大学大学院 芸術工学府, ^{*2} 九州大学大学院 統合新領域学府, ^{*3} 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所, ^{*4} 九州大学 基幹教育院, ^{*5} 九州大学大学院 芸術工学研究院

O1-06 防護服着用による温熱負荷の評価と WBGT 補正值 CAV の推定

薩本弥生^{*1}, 傳法谷郁乃^{*2}, 田村沙織^{*1}, 大矢幸江^{*3}, 齊藤宏之^{*4}^{*1} 横浜国立大学教育学部, ^{*2} 実践女子大学家政学部, ^{*3} 昭和学院短期大学, ^{*4} 労働安全衛生総合研究所

口演セッション 2

10:55-11:55

F309

座長 大下和茂 (岡山県立大学)

O2-01 下肢への触覚付加による運動学習への影響

細野裕希^{*1}, 漆原良^{*2}^{*1} 京都先端科学大学健康医療学部, ^{*2} 立命館大学産業社会学部

O2-02 低酸素環境での繰り返しスプリント運動時の生理応答とパフォーマンスの個人差

竹井尚也^{*1,2}, 邑木隆二^{*3}, 八田秀雄^{*2}

特定健診の受診率向上

循環器疾患予防研究委託業務の報告書より
(医療費等データ分析/行動変容プログラムの推進・汎用性の高い行動変容プログラム)

2024年12月18日 令和6年度 大阪府国保ヘルスアップ支援事業
「特定健診未受診者対策支援事業」検討会

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
公衆衛生部 疫学解析研究課 本田瑛子

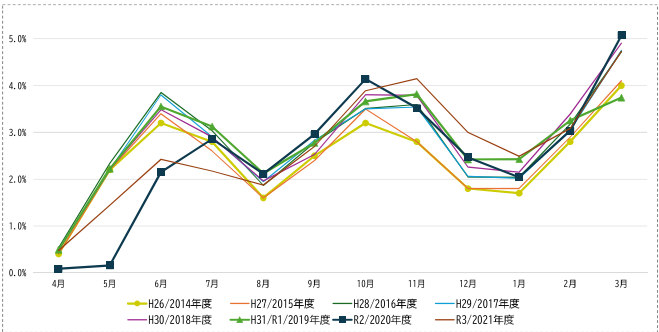


「医療費等データ分析」について

- 大阪府の健康課題として、**高血圧**と**喫煙**があり、その対策が必要であった。高血圧と喫煙は、循環器疾患（脳卒中や心筋梗塞など）の大きな危険因子である。
- 「循環器疾患の予防」をテーマに研究をしていたところへ、平成24年度より、大阪府からの委託にて「循環器疾患予防研究委託業務」を開始。
- この委託業務の一つである「医療費等データ分析」事業にて、**大阪府内の市町村に**関係するデータを分析して、**府内市町村の健康・医療に係る課題を明らかにし、課題等の把握**を目標として事業を実施。

事業名	概要
医療費等データ分析	市町村国保や協会けんぽ等の健診データや医療費データ、NDBを分析し、その結果を基に健康に係る市町村の取り組みや課題等を把握する。例：市町村の作成するデータヘルス計画についての支援
行動変容プログラムの推進	市町村等の保健事業に対するデータ（データ分析の結果）を活用した専門的技術支援を実施する。例：特定保健指導、禁煙支援のスキルアップ
循環器疾患と危険因子のモニタリング及び研究	モデル地区（後述）におけるモニタリングを基にした研究成果を報告し、その成果を大阪府内（モデル地区以外）で展開する。
府民の健康づくりを支援するシンクタンク機能の役割	健康づくりや循環器疾患対策に関する専門的知見を収集して、それらを活用し大阪府や府内市町村等に対する専門的技術支援を行う。

月別健診受診率(市町村国保)



※ 平成27年度～令和4年度医療費分析報告書（大阪がん循環器病予防センター作成）より作成。
※ 市町村計に一部の市町村を含まない年度がある。

「行動変容プログラムの推進」事業について(2)

- 5つのテーマ（**特定健診受診率向上**/特定保健指導実施率向上/禁煙支援/高血圧対策/糖尿病対策）について、市町村担当課からアンケート回答を得て取り組み状況を把握。
- 取り組み状況とデータ（受診率や実施率、喫煙率、高血圧・糖尿病などの未治療者数など）の検討をし、市町村が効果的に事業の取り組みを進展させるための支援としてきた。

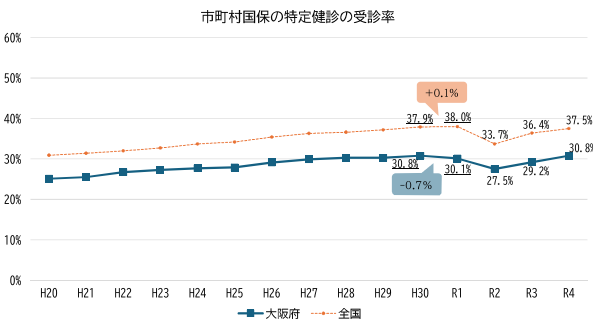
本日の検討会議のテーマである
「特定健診の受診率向上」についてお話しします。



本日の内容

- これまでの取り組みについて
- 大阪府内市町村R4年度の取り組み実態調査より
- 未受診者勧奨のポイント

特定健診の受診率の推移



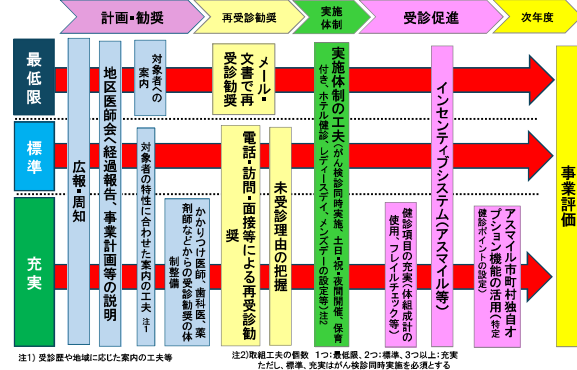
出典 大阪府市町村国保：大阪府国民健康保険団体連合会より
全国市町村国保：国民健康保険中央会市町村特定健診調査・特定保健指導実施状況より

「行動変容プログラムの推進」事業について(1)

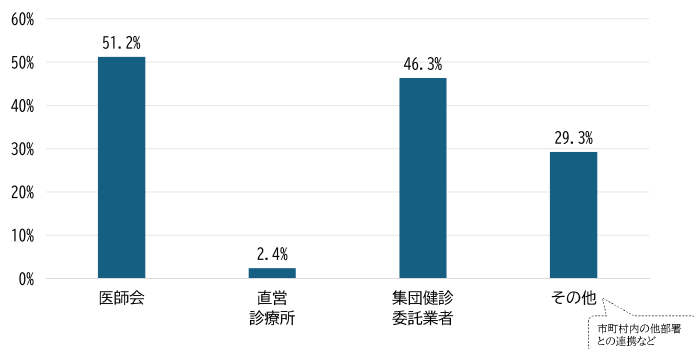
- 大阪府の健康課題として、**高血圧**と**喫煙**があり、その対策が必要であった。高血圧と喫煙は、循環器疾患（脳卒中や心筋梗塞など）の大きな危険因子である。
- 「循環器疾患の予防」をテーマに研究をしていたところへ、平成24年度より、大阪府からの委託にて「循環器疾患予防研究委託業務」を開始。
- この委託業務の一つである「行動変容プログラムの推進」事業にて、**大阪府内の市町村に**関係するデータの分析によって把握した府内市町村の健康・医療に係る課題に対応する**理想的な取組み（汎用性の高い行動変容プログラム）の提言と市町村の実践を支援する**ということを目指して事業を実施。

事業名	概要
医療費等データ分析	市町村国保や協会けんぽ等の健診データや医療費データ、NDBを分析し、その結果を基に健康に係る市町村の取り組みや課題等を把握する。例：市町村の作成するデータヘルス計画についての支援
行動変容プログラムの推進	市町村等の保健事業に対するデータ（データ分析の結果）を活用した専門的技術支援を実施する。例：特定保健指導、禁煙支援のスキルアップ
循環器疾患と危険因子のモニタリング及び研究	モデル地区（後述）におけるモニタリングを基にした研究成果を報告し、その成果を大阪府内（モデル地区以外）で展開する。
府民の健康づくりを支援するシンクタンク機能の役割	健康づくりや循環器疾患対策に関する専門的知見を収集して、それらを活用し大阪府や府内市町村等に対する専門的技術支援を行う。

汎用性の高い行動変容プログラム 特定健診受診率向上

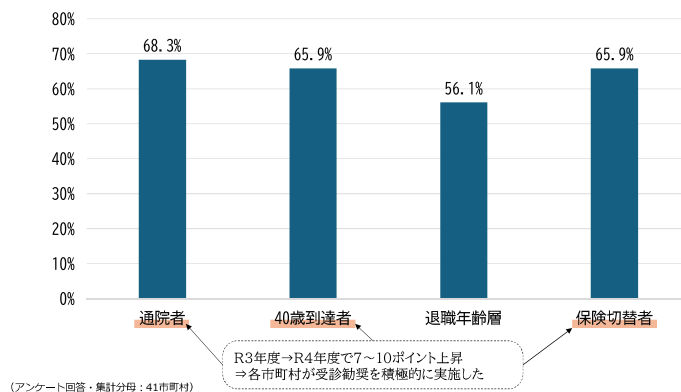


関係機関との連携・協力 —特定健診に関する定期的な打ち合わせ



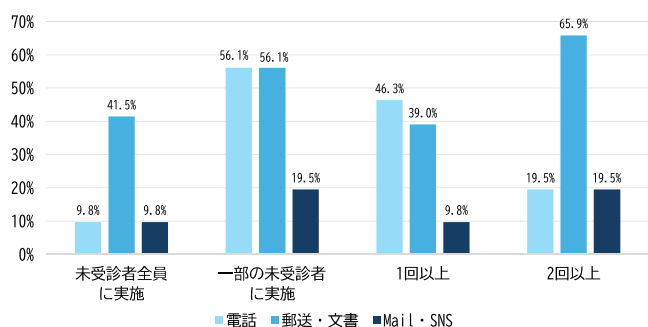
(アンケート回答・集計分母：41市町村)

受診勧奨対象者



(アンケート回答・集計分母：41市町村)

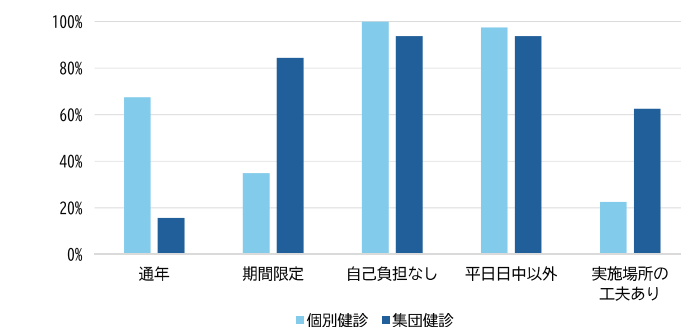
未受診者対策 —実施対象と回数



※ 一部アンケート項目で市町村の複数回答あり

(アンケート回答・集計分母：41市町村、1つの質問に対し複数回答した市町村あり)

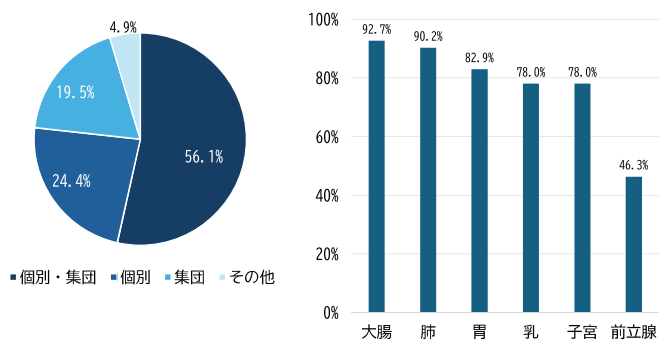
実施形態についての取組み



※ 個別健診または集団健診を実施した市町村の中での割合を示す
※ 一部アンケート項目で市町村の複数回答あり

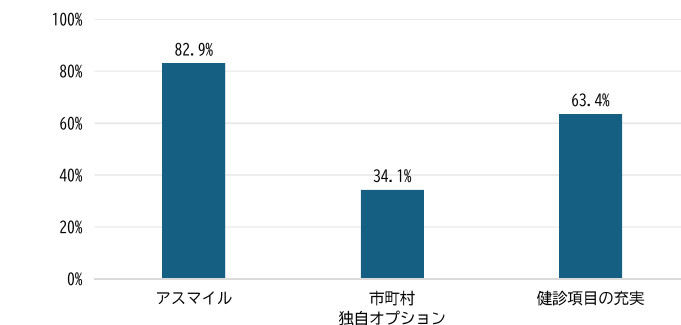
(アンケート回答：41市町村、個別健診実施市町村数：40、集団健診実施市町村数：32、1つの質問に対し複数回答した市町村あり)

受診促進の取組み —がん検診の同時実施



(アンケート回答・集計分母：41市町村)

受診促進の取組み —インセンティブ



(アンケート回答・集計分母：41市町村)

受診率向上の効果ありと評価する取組み

- 41市町村のうち、34市町村記入あり

取り組み内容	市町村数
★関係機関との連携・協力	★2
★受診勧奨	15
★未受診者対策	15
実施形態	2
受診促進	8

※ 取り組みの詳細については、報告書をご参照ください。
https://www.iph.osaka.jp/s016/050/051/r5.2_hanp
ro_report.pdf

健診も医療も受診あり

- 健診受診がすでに習慣化している人と、もしかすると毎年受診していない人があると思われるため、毎年受診する必要性の啓発を。

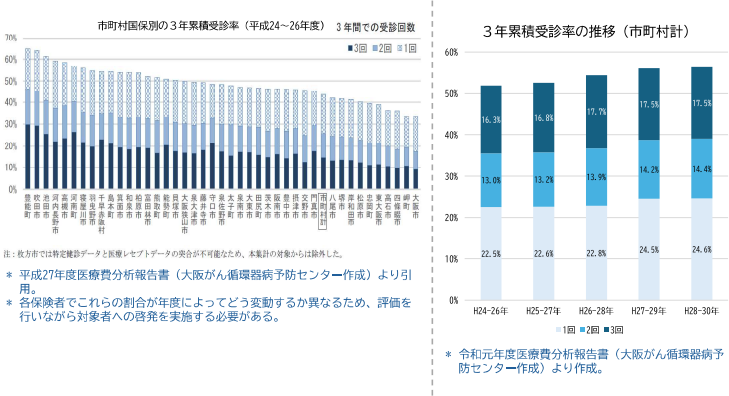
- 累積受診率*で受診者の状況の確認を。

→3年累積健診受診率が高い市町村では「毎年受診する人」の割合が高く、単年の特定健診受診率を見ても、受診率を維持するために重要な指標であると考えられるが、「毎年受診する人」の割合が高すぎる場合は特定健診受診者が固定化している可能性が高く、未受診者の掘り起こしが必要と考えられる。

→過去3年間で「1回受診した人」の割合が高い市町村では、単年の特定健診受診率が伸びている市町村が多く、未受診者の掘り起こしの指標として有用であると考えられ、継続的な受診につなげることが重要である。

※ 平成27年度医療費分析報告書（大阪がん循環器病予防センター作成）より引用。

累積受診率



医療は受診するも健診は未受診

- 医師会・医療機関と連携し、医師等から健診受診の声掛けをしてもらう必要がある。
→被保険者が多く受診している医療機関、反対に被保険者が多く健診を受診している健診機関などの状況を確認して、対策を検討するもひとつ。
- 保険者として、健診を受診する大切さをもっと啓発していく。
→医療機関へのアクセスはできているので、健診の必要性がわかれば健診受診につながる。

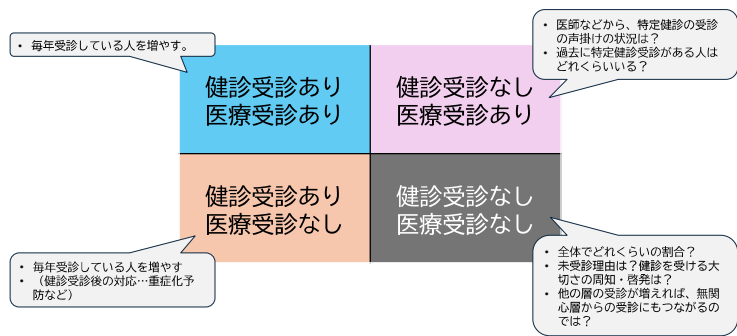
健診は受診するも医療は未受診

- 毎年健診を受診してくれている層は、特に何かしなくてもだいたいは受診する。
- 受け逃し・受け忘れの人には適切なタイミングでの受診勧奨を実施する。
→受診が多くなる時期なども踏まえ、受診勧奨を。
- 受診結果によって医療機関へ行くべき状態の人へは、しっかりと受療勧奨を。（重症化予防）

健診も医療も未受診

- 未受診者の中で、健康無関心層がどれくらいかデータを確認する。
- 健診を受診しない理由…「時間がない」、「めんどうだから」、「必要時医療機関を受診」、「健康だから」、「受ける必要性を感じない」といったことがあげられる。
→メリットよりデメリットの方に重きをおいている。ナッジの活用等にて未受診者にアプローチを。
→周囲が「健診を受けるのが当たり前」となっていけば、無関心でも関心へ傾く可能性がある。（機運醸成）

未受診の人たちがどういった状況にいるのか



先着
500名様
粗品を進呈
いたします
お一人様1回限り

第41回 東成区医師会

健康展

災害医療

日時：令和6年10月24日(木)
14:00～16:00

会場：コミ協ひがしなり区民センター（2階大ホール）
大阪市東成区大今里西3丁目2番17号

相談コーナー

- かかりつけ医・認知症の相談
- 東成区内病院の相談
- 在宅医療・地域医療・訪問看護の相談
- おまもりネット手帳・カードの説明・申込受付
- 介護相談
- リハビリ相談
- 障がい相談

体験コーナー

- 超音波検査（先着160名）
13時45分より2階の奥通路にて整理券を配布
- 血糖値測定
- 体組成計測定
- 血圧測定
- 体力測定
- 足指筋力測定

保健福祉センターコーナー

- いきいき100歳体操の紹介
- 健康づくりレシビコーナー
- 災害時のトイレについて
- 快適睡眠コーナー
- 能登半島地震の写真掲示

実演コーナー

- 若返り体操
- もしもの時に役立つバッククッキング

薬剤師会コーナー

- 薬事トリアージ
- マイナンバー保険証の説明
- 災害時協力薬局の紹介

消防署コーナー

- 応急手当普及啓発、ターボリン幕等の展示
- 心肺蘇生人形、AEDを用いた心肺蘇生法の体験

主催：東成区医師会

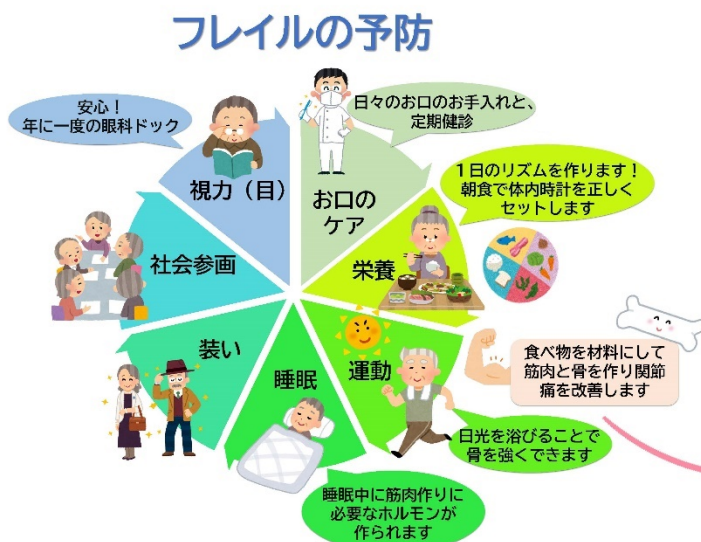
共催：東成区薬剤師会、東成区保健福祉センター

後援：東成消防署、東成区社会福祉協議会、コミ協ひがしなり区民センター、大阪健康安全基盤研究所、東成母子会、東成区食生活改善推進員協議会、東成区健康づくり推進協議会「すみれの会」、東成区介護予防講座修了者の会「あしたば会」、東成区居宅介護支援事業者連絡会、東成区病院連絡会、東成区訪問看護ステーション連絡会、東成区地域包括支援センター・ランチ連絡会、東成区オレンジチーム、東成区リハビリテーション連絡会、東成区障がい者基幹相談支援センター、東成区在宅医療・介護連携相談支援室

14



元気を保つために フレイル(虚弱)の要素



足指筋力測定にて、ご自身の足の力の状態を確認しましょう!
運動器を元気にして、いざ、フレイル予防!!



高血圧、糖尿病、脂質異常症は脳卒中や心臓病の危険を高めます。
数値が高い場合は医療機関を受診しましょう。
医師の指示通りに、治療(服薬)・食事・運動を行い、重症化しないように過ごしましょう。



血圧測定と記録

血圧は朝・夜に測る
記録は受診時、主治医へ見せる



脳卒中や心臓病を 予防しよう

バランスの良い食事



朝・昼・夜の3食をとる
主食・主菜・副菜を意識
野菜をたくさん食べる
塩分を摂りすぎない
脂の摂りすぎには注意

野菜は、1日で **350グラム以上**



禁煙

禁煙するときは
医師・看護師へ
ご相談を



日本酒換算で **1合(180mL)** が適量です

節酒

1日1合までを目安に



ビールなら500mL
(ロング缶1本)



ワインなら240mL
(グラス2杯)



ウイスキーなら60mL
(ダブル1杯)



焼酎なら100mL

しっかり休養 ストレスをためない

日中に活動して、昼夜のメリハリを
友人や家族とお話しよう



適度な運動 身体活動

目指せ10,000歩



足指筋力測定



測ってみよう 足指のちから

<足指の筋力からわかること>

立ったときの姿勢の安定性、走ったり跳んだりする力や転倒リスクとの関連が言われています。

■ ひざを約90度に曲げて、腕を組みます。



■ 足指で棒をギュッと引っ張りましょう！



■ 足指の力の目安

単位:kg

男性	弱い	←	ふつう	→	強い
年代					
20～29歳	7.8以下	7.9 ～ 13.8	13.9 ～ 19.9	20.0 ～ 25.9	26.0以上
30～39歳	9.5以下	9.6 ～ 14.5	14.6 ～ 19.6	19.7 ～ 24.6	24.7以上
40～49歳	6.4以下	6.5 ～ 12.6	12.7 ～ 18.9	19.0 ～ 25.1	25.2以上
50～59歳	7.1以下	7.2 ～ 11.9	12.0 ～ 16.8	16.9 ～ 21.6	21.7以上
60～69歳	5.2以下	5.3 ～ 9.7	9.8 ～ 14.3	14.4 ～ 18.8	18.9以上
70歳以上	5.4以下	5.5 ～ 8.7	8.8 ～ 12.1	12.2 ～ 15.4	15.5以上

女性	弱い	←	ふつう	→	強い
年代					
20～29歳	4.2以下	4.3 ～ 8.3	8.4 ～ 12.5	12.6 ～ 16.6	16.7以上
30～39歳	4.1以下	4.2 ～ 9.0	9.1 ～ 14.0	14.1 ～ 18.9	19.0以上
40～49歳	4.8以下	4.9 ～ 9.3	9.4 ～ 13.9	14.0 ～ 18.4	18.5以上
50～59歳	3.4以下	3.5 ～ 7.0	7.1 ～ 10.7	10.8 ～ 14.3	14.4以上
60～69歳	2.8以下	2.9 ～ 6.8	6.9 ～ 10.9	11.0 ～ 14.9	15.0以上
70歳以上	1.8以下	1.9 ～ 5.4	5.5 ～ 9.1	9.2 ～ 12.7	12.8以上

【引用】(J Foot Ankle Res 2014;7:28)(竹井機器工業株式会社)



大阪・関西万博開催50日前イベント

2月24日 月休 10:00~17:00
AMAMI STADIUM / 3COINS+plus前

ステージ

10:30-11:00	三井住友銀行 ステージ
11:30-12:00	キャラクター撮影会
13:00-13:30	阪南大学 チアリーディングクラブ
14:00-14:30	大阪健活10 ダンサーズ
15:00-15:30	みらいたん 絵本読み聞かせ
16:00-16:30	阪南大学 チアリーディングクラブ
16:30-17:00	大阪健活10 ダンサーズ

三井住友銀行ステージ

10:30

「キャッシュレス時代までの道のり」

お金の歴史を振り返りながら、未来のお金の形について考えてみよう。正しく知ることで、お買物がもっと便利で楽しくなるよ!

キャラクター撮影会

11:30

ミヤクミヤク・マッキー・はびなん・もずやんが登場!

ワクワクする未来へ運動!

阪南大学 Presents チアリーディング演技

13:30 / 16:00

阪南大学のチアリーディング部とキッズチアリーディングクラブのパフォーマンス

大阪健活10ダンサーズ

14:00 / 16:30

大阪健活10ダンサーズによる「自分史上最高(G.O.A.T)の明日へ」のダンス披露とミニダンスレッスン

※丘みどりさんの出演はありません

トイトーンズ♪

みらいたん 絵本読み聞かせ

15:00

こどものための音楽ユニット「トイトーンズ♪」のたのしい演奏にあわせて、絵本「みらいたん」の読み聞かせをおこないます。

ブース

タケダハム株式会社

万博出展「タケダハムブース」

- ・万博にて販売する商品の販売
- ・タケダハム新商品販売
- ・カップウインナーを調理し、販売
- ・お子様たちに楽しんでもいただけるようクイズを実施
- ※正解者にはタケダハムステッカーをプレゼント

AMAMI STADIUM

ステージ

正面

Joshin

環境先進企業Joshinと地球温暖化について学ぼう

現在の日本における地球温暖化のしくみと、それに対するJoshinの取り組み、そして「家庭のカーボンニュートラル実現」のための省エネ家電を楽しいクイズと映像などを交えてご紹介いたします。クイズに答えてプレゼントもゲットしてね!

大阪府 健康推進部

健康推進室 健康づくり課

楽しく学ぼう! 健活10!

「立ち上がりテスト」や「握力測定」でフレイルチェック。ミニセミナー「化粧でフレイル予防?」「海外緑茶のお話しとゴムプレスレット作り」など楽しく学んでみませんか。わくわく抽選会もあります!

※抽選はイベントにご参加いただいた方、おひとり一回に限ります。抽選会は、景品がなくなり次第終了します。

大阪府・大阪市 万博推進局

2025年大阪・関西万博万博来場サポートデスク

チケット購入や来場日時予約、バリアフリー入場予約に付く各種サポートを行います。入場チケットの買い方などわからないなど、万博に関する手続きに關してお問い合わせができれば、ぜひお立ち寄りください。

バンダイナムコミュージアム

ガンダムR(リサイクル)作戦-エコプラ体験-

ガンダムを題材にリサイクルへの関心を高める活動「ガンダムR(リサイクル)作戦」を開催

3COINS+plus前

ブース

松原市観光協会と松原市

松原市観光協会

ガチャガチャブース

松原市観光協会のSNSをフォローしたら、大阪・関西万博グッズや楽しい景品が当たるガチャガチャを無料で回せます!

※各イベントの詳細はホームページでご確認下さい。※当日の天候・交通事情に拠りましては、時間・内容の変更や中止になる可能性もございますので、予めご了承くださいませ。

後援 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、関西経済連合会